

Weekly Bulletin 2018-2019



RI会長
ラリー・ラシン



BE THE INSPIRATION

静岡東ロータリークラブ

会長／杉田至弘 幹事／川口尚宜

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30～13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
杉田至弘

第 2873 回例会

平成 30 年 10 月 4 日 天候 晴

- 《司 会》 川口 尚宜 君
- 《合 唱》 「君が代」
「奉仕の理想」
- 《BGM》 「Gym hopedie」 サティ
- 《ゲスト》 うきうきプロジェクト代表
仲戸川 知恵子 様
- 《ビジター》 海野 育男 君 (浜松RC)
- 《本日のお祝い》
お誕生日 結婚記念日
10月 5日 川口 尚宜 君 該当者なし
- 《ソングリーダー》 林田 尚翁 君



《会長挨拶要旨》

200年企業

杉田 至弘 会長



先日世界の資産総額のランキングが載っていました。アップル、アマゾン、マイクロソフト、アリババなどインターネット時代になっての新しい企業ばかりです。日本企業はトヨタ自動車が40何位に顔を出している程度でした。勿論企業の価値は資産総額だけではありませんので

皆さんそれぞれ感じられたこともあると思います。

でもご承知の方も多いと思いますが、日本には創業200周年を迎えたいいわゆる「200年企業」が3146社ございます。この数字が如何に凄いかと改めてデータを見てみますと世界41ヶ国で計5586社の中での3146社です。世界の約6割を占めダントツです。日本の3146社の次にくるのはドイツの837社、3位はオランダの222社です。

共産主義、社会主義国家や建国の歴史が浅い国は当然その数は限られてきます。アメリカ、中国、韓国などは一桁そこそこです。

日本で一番古い企業といわれているのは大阪天王寺区にある「金剛組」という建設業(神社、仏閣を建立するいわゆる宮大工さん)です。西暦578年創業ですので1500年を越えています。この社は別格として多くは1800年代江戸時代、明治時代に創業しています。決して大企業だけでなく僅かな従業員だけで技術と伝統を守って続けている企業が多くみられます。業種別にみますと酒づくり、菓子造り、旅館、旅籠の経営などが見られます。日本的な世襲経営、従業員の終身雇用制など色々な要素があつての「200年企業一位」だと思います。底流にあるのは「技術を繋ぐ、人を繋ぐ、経営を繋ぐ」という日本人特有の「粘りつよい繋ぐ文化」ではないでしょうか？ 静岡県下で見えますと1801年(享和元年)創業の清水の「鈴与」さん。焼津の福一漁業さん、とろろで有名な丸子の丁子屋さん、蒲原のいなば食品さんは創業230年、焼津のいちまるさん150年。私たち東ロータリー会員社で見ますと松坂屋さんが1611年(慶長15年)の創業ですので300年近いですね、竹中工務店さんが同じく1610年に創められています。200年にはいっていませんが、昨年「肥田会員」のところが創業150年を迎えられたのは目新しいニュースですね。私の知らない企業がこの中にはまだまだいらっしゃるかもしれません。

“お子様がない” “子供はいるが違う仕事をしたい” “然るべき後継者がいない” いわゆる後継者難は企業の大小を問わず切実な問題になってきています。社会環境の変化、国際化、少子化がこの流れを一層拍

車をかけています。200年企業を全国的に見てみると東京、大阪、愛知、京都、新潟、兵庫が並んでいますが、静岡は非常に少ない。私が子供の頃、祖父や両親に連れて行ってもらった静岡駅前の大東館や昭和天皇が宿泊された興津の水口屋さんはもうありません。その他、親しんだ和菓子屋さん、料理屋さん、本屋さんなど静岡を代表してきたお店が無くなっています。元気であれば200年企業に仲間入りしていたと思います。残念ですね。なにわともあれ、日本人がもっている「技術を繋ぐ、人を繋ぐ、経営を繋ぐ」というものは大事にしたいですね。長く続けるには相当の努力や熱が必要ですが100年持たない企業、団体には200年はありません。10月14日は静岡東ロータリー60周年です。

100周年でも静岡東ロータリーが話題がある団体であり続けたいと願望を述べて挨拶を終わります。

《来賓卓話》

「静岡・ハワイオペラ構想 ご協力をお願い」

仲戸川 知恵子 様



先日の台風 24 号の停電等で被災された方々に対し、心からお見舞い申し上げます。また貴重なお時間をいただき有難うございます。何分歌うことは慣れておりますが お話することは慣れておりませんのでよろしくお願ひします。

それでは「うきうきプロジェクト」についてお話させていただきます。皆様方に企画書、クラウドファンディングを配布させていただいております。

まず「うきうきプロジェクト」とは何かと良く聞かれます。個々の音楽家が集まった団体であります。静岡県の文化向上と発展のために東部、西部、中部の音楽家が一つになりました。静岡県の文化芸術の底上げを目指し、参加者相互のスキルを高め、そして「うきうき、わくわくする」企画の準備、その活動を世界的発信するため2018年4月1日に発足しました。

あらゆる角度、あらゆる視点からをコンセプトにしております。県内の大学の音楽化の先生方にメンバーとして入っていただいております。また東京オリンピック、パラリンピック組織委員会の2020の参画プログラムの認証と文化庁が推進しております「beyond2020」より認証を頂き静岡より日本へそして世界へ音楽を通じて平和の祈りの和を広げていこうと思っております。私たちが目指すオペラ公演についてお話をさせていただきます。来年の2019年5月1日に「グランシップ」の中ホールにて開催が決定しており、オペラ「ある水筒の物語」を上演させていただきます。

この「ある水筒の物語」は第二次世界大戦末期、静岡空襲の際に墜落したB29搭乗員の遺品は「水筒」一つだった。この水筒を持って慰霊を続けている静岡市の医師・菅野 寛也先生のエピソードは「たったひとりの慰霊祭」と題してNHKのテレビやラジオでも取り上げられました。「敵味方の区別のない慰霊こそが平和の第一歩」、「慰霊鎮魂なくして平和は語れない」、この

言葉に感銘を受け、音楽作品＝オペラを製作しています。

オペラ「ある水筒の物語」では、夜闇が私たちの小さな世界を呑み込み、朝日が私たちの平和な世界を照らし出すまでを描き出します。台本は劇団青年座の作家で、現在は、いわき PIT(福島)で活動を続ける高木達氏。作曲はオペラ「ミスター・シンデレラ」や数多くの吹奏楽作品で世界的に知られ、浜松市歌の作曲家でもあり。「浜松ゆかりの芸術家」の伊藤 康英氏。

そしてこの上演に向けての企画制作は「うきうきプロジェクト」が手掛けております。皆様方に同プロジェクトの趣旨にご理解頂き、ご協賛を賜りたく、ここにお願ひ申し上げ本日の卓話とさせていただきますと思います。本日は有難うございました。

《スマイル報告》

由利 浩志 君 10月2日に開催されました「あすなる会」ゴルフコンペで優勝させていただきました。ハンディキャップに恵まれての優勝です。また幹事をやります。次回は12月4日(火)リバー富士 C.C で行います。予定に入れて下さい。

川口 尚宜 君 お誕生日のお祝いありがとうございます。52回目の誕生日です感謝してスマイルします。

杉山 輝光 君 先日は結婚記念日のお花をありがとうございました。誕生日のお祝いと合わせてスマイルさせていただきます。40代最後の一年を頑張らせていただきます。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
10/4	50(48)	41	7	-	-	-
9/27	51(50)	38	12	-	-	-
9/20	51(50)	43	7	4	3	94.12%

(会報作成 松本 安之)

※10/18(木)職場見学会参加者21名。他の方はメイクアップが必要ですが、10月はメイクアップが少なく静岡は10/22(月)中央 RC 中島屋ホテル 17:00~18:00のみです。